



▲テープカット後 再開通記念「六十里越まんじゅう」を販売



▲関係者によるテープカット



▲国道252号

春になると国道252号再開通の問い合わせは役場にも毎日あり、多くの方が早くこの道路を通りたいと思っています。皆さんが待ち望んでいる道路なので、今年のように来年もゴールデンウィーク前に再開通して欲しいと思います。

再開通イベントには只見町、魚沼市の関係者などが参加し、昨年は5月15日に再開通となった道路が今年もゴールデンウィーク前の再開通となり、連休中に多くの観光客がこの道路を利用することが出来たことを喜び合いました。

5月1日に国道252号六十里越え道路が再開通し、これを祝して5月22日に新潟県魚沼市「道の駅 いりひろせ」で再開通イベントが行われました。

5月1日 再開通

国道252号

再開通イベント



▲熱心に参加者に話される小泉さん

「農家所得倍増論」と題して

小泉武夫さん 只見で講演会

発酵学、食文化研究の第一人者で東京農大名誉教授の小泉武夫さんの「移動塾 天下無敵の食談義」第4回講演会が季の郷湯ら里を会場に5月10日に開催されました。福島民報社の主催で講演会には町内外から150名の方が参加されました。

れられ、アドバイスなどをされており、本当に美味しいものとは何か、どのような商品が売れるのかを先進事例など具体的な話を交えながら説明され、「売れる食べ物5原則」として持論も展開されました。とても分かりやすく楽しい講演会で、参加者は満足げに会場を後にしていました。

「売れる商品5原則」

- ①美味しいものであること。
- ②ものまねではダメ。
- ③物語性があり理論がしっかりしている。
- ④ネーミングが良いこと。
- ⑤履歴現象(食べた瞬間美味しいと刷り込ませる)を発現させること。

ふくしまDOCキャンペーン
只見の魅力を発信

来年開催される国内最大規模の観光キャンペーン「ふくしまディスプレイネーションキャンペーン(DC)」を前にそのプレイベントとして22、23日に観光関係者による現地視察が行われました。

只見では田子倉ダムや湯ら里を視察され、観光関係者は自然の素晴らしさなど只見の魅力に触れ、只見の良さを感じているようでした。



▲田子倉レークビューで景観の素晴らしさを説明

大字只見地区を考える
土地利用計画づくり懇談会

昨年度から只見地区の皆さんと検討を重ねてきた大字只見地区の土地利用計画について、計画書案ができ、多くの方から意見を頂くため5月28日、只見振興センターで懇談会を開催しました。

懇談会の参加者からは、大字只見地区内の活性化には商店街や只見駅周辺を活性化していくことが必要という意見などが出されました。



▲意見交換をする参加者

只見町消防団
不明者早期発見で感謝状

5月23日、只見町で行方不明になった町民を迅速な対応により無事救助したとして、28日南会津警察署長から町消防団に感謝状が贈呈されました。

梅宮署長は「地元を知る消防団だからこそ行方不明者を早期発見できた」と話され感謝状を鈴木消防団長に手渡しました。

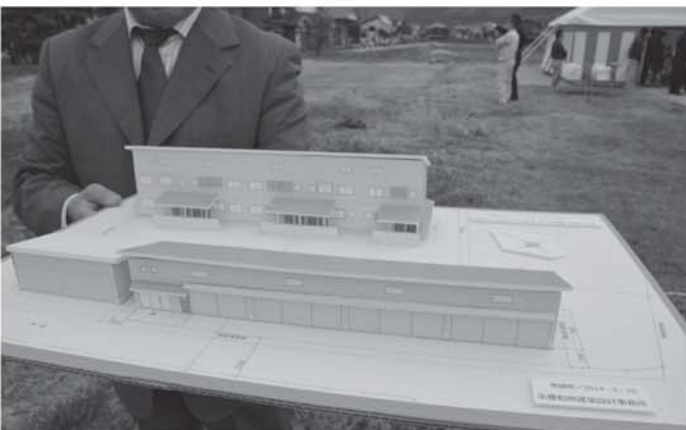


▲南会津警察署長から感謝状を受ける鈴木団長

安全を祈願して
只見の長屋 地鎮祭

5月15日、株式会社コスモメディアルサポートは、只見の長屋新築工事の安全祈願祭を行い、目黒町長はじめ関係者が出席しました。

只見の長屋は、大字只見にある「桜の丘みらい」の隣に建設される建物で、道路沿いに店舗と車庫、その後ろが住宅となり今年の9月末に完成する予定です。



▲只見の長屋の完成予定模型